

科目名	保育実習 I (施設) 事前事後指導				担当	大塚 美奈子・市東 賢二・多田 幸子		
形態	演習	単位数	1	開講時期	1 年後期 2 年前期	実務経験	特別支援学校勤務経験有 (大塚)	
必修	保育士：必修				ナンバリング	Y5105	DP との関連	免 1
授業概要	本科目は、「保育実習 I (施設)」を実施するために必要な事前の知識・技術の習得を目指すとともに、実習に必要な書類の準備や、人権の尊重、守秘義務の厳守等、実習生としての心構えの確認を行う授業である。15 回の事前事後指導すべてに出席することが、「保育実習 I (施設)」実施の条件である。							
到達目標 学習成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育実習の意義・目的を理解する</li> <li>2. 実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする</li> <li>3. 実習施設における利用児・者の人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護、守秘義務等について理解する</li> <li>4. 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する</li> <li>5. 事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、課題や学習目標を明確にする</li> </ol>							
授業計画	回	内容						
	1	保育実習の意義①	実習の目的					
	2	実習の計画と記録①	実習における記録および評価					
	3	保育実習の意義②	実習の概要					
	4	実習の内容と課題の明確化①	実習施設の理解					
	5	実習の内容と課題の明確化②	利用児・者の理解					
	6	実習の内容と課題の明確化③	福祉施設の職員の理解					
	7	実習に際しての留意事項①	利用児・者の人権の尊重					
	8	支援計画と家族支援の視点①	支援計画					
	9	支援計画と家族支援の視点②	家族支援					
	10	実習の内容と課題の明確化④	施設の支援に必要な専門知識と技術					
	11	実習の計画と記録②	実習における計画と実践					
	12	実習に際しての留意事項②	プライバシーの保護と守秘義務					
	13	実習に際しての留意事項③	実習生としての心構えと宿泊を伴う実習					
	14	実習事後指導①	実習の総括と自己評価					
15	実習事後指導②	課題の明確化						
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会人としてふさわしい常識と意欲を持って事前指導に臨めたか</li> <li>2. 実習で必要とされる技能の修得に取組み、実践できたか</li> <li>3. 保育士に求められる職業倫理について説明できるか</li> </ol>							
評価方法	授業態度 50% その他 50% (課題・提出物)							
フィードバック 方法	実習日誌の記録用練習シート、実習の目的作成などの課題は、その都度評価し返却する							
アクティブ ラーニング	グループディスカッション、調べ学習							
教科書	『実習ガイドブック』上田女子短期大学							
参考書	『教育・保育実習のデザイン』萌文書林							
履修条件	本授業を受講するためには、「教育実習 I」を終了していることが必要である。また、本学幼児教育学科において定める実習実施基準が、「保育実習 I」実施の条件となる。また 14、15 回目の実習事後指導は、実習園での 11 日間の保育実習、または保育実習に相当する学内演習を行った学生のみが出席できる。「保育実習 I」が何らかの事情で中止となった学生は、本科目の単位認定も行われないので注意すること。							
授業外学習	事前学習：「保育実習 I (施設) 事前事後指導」の第 1～13 回、施設毎に実施される事前指導を受講し、実習の目的を具体的に考察すること 事後学習：実習での体験や学びを明確化し、自らの課題について考察すること							
オフィスアワー	2 階第 12 研究室    3 階第 9 研究室    3 階第 10 研究室    mail:office365 outlook へ							